



# ID LETTER

第44期 第2四半期決算のご報告

2011.4.1~2011.9.30



中期経営計画「**Breakthrough 200!**」の達成に向け、クラウドや多機能端末の普及拡大、グローバル化などの事業環境の変化に柔軟に対応し、引き続き既存ビジネスの拡大と新規顧客の獲得を目指します。

### 第2四半期の業績概要

当上半期における日本経済は、震災からの復興に伴い緩やかな回復基調にありましたが、円高の長期化や海外経済の減速などによる景気の下振れ懸念が見られました。また情報サービス産業の売上高も、長期にわたりマイナス成長が続いております。

このような厳しい状況ではありますが、当社グループは、引き続き人材育成を最優先課題に取り組むとともに、経営資源の共有と活用による業務効率化、既存顧客への横断的な営業展開を積極的に行ってまいりました。その結果、主要事業のシステム運営管理事業においては、顧客からの値下げ要請が一部に見られるなか、潜在ニーズの発掘および付加価値サービスへの転換により、売上高が微増となりました。しかしながら、ソフトウェア開発事業における顧客のIT投資抑制による受注不振、国内の受託データ入力事業からの撤退による受注減などの影響もあり、当第2四半期連結累計期間における売上高は、77億33百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

収益面では、業務プロセスの改善による生産性の向上に取り組んでまいりましたが、減収に伴う減益や値下げ要請等により、収益の回復には至らず、営業利益は3億28百万円(同21.6%減)、経常利益は3億38百万円(同25.1%減)、四半期純利益は1億74百万円(同25.8%減)となりました。

### 通期の見通しについて

当社グループは事業環境悪化の影響を最小限に抑えるべく、主力のシステム運営管理業務をさらに強化すると同時に、これまで推進してきました「ビジネスプロセスアウトソーシングの拡大(一顧客複数取引)」、「グローバル展開」、「プラットフォーム系開発業務の拡大」に注力していきます。今後も、これら施策を一層強化し、より高品質で価格競争力のあるサービスの提供に努めるとともに、業務効率化による生産性のさらなる向上を図っていきます。

業績見通しにつきましては、連結子会社シィ・エイ・ティの連結解消および顧客のIT投資抑制の影響によるソフトウェア開発事業の受注不振などを勘案して見直しを行い、2011年4月28日公表の業績予想を修正しました。連結解消につきましては事業の集中と選択、経営資源の集約化の一環として行うもので、これにより、これまで進めてきた国内データ入力業務からの撤退が完了します。今後も受注活動の推進や、固定費の削減、グループ資源の集中による業務効率化などの改善を進めていきます。

通期の連結業績見通しは、売上高は161億円(前期比2.1%減)、営業利益は6億30百万円(同24.9%減)、経常利益は6億50百万円(同27.2%減)、当期純利益は4億70百万円(同5.1%増)を計画しております。

### 今後の事業展開について

当社グループは、中期経営計画「**Breakthrough 200!**」に基づき、2014年3月期の「連結売上高200億円」「連結営業利益率6.3%」の達成に向け、様々な戦略に取り組んでいます。戦略の柱である「グローバル展開」では、海外に進出している顧客企業に向けたITサポート強化のため、米国のSYSCOM(USA)INC.ならびに英国のNewton Information Technology Ltd.と業務提携しました。これを欧米市場への足掛かりとして日欧米中のグローバルITサポート体制の確立を目指します。ますますグローバル展開を進める日系企業に対し、ITに関する導入支援から運用保守までのワンストップサービスを提供します。加えて人材交流を活発に行ない、グローバル人材の育成にも注力していきます。また、拡大が見込まれるクラウド市場も注視しています。「プラットフォーム系開発業務の拡大」では、ソフトバンクテレコム株式会社や株式会社セールスフォース・ドットコムと業務提携しました。両社との営業協力を推進して、サービスの拡充に積極的に取り組み、今後も多様化する顧客ニーズに応えていきます。

当社グループはこれからも「カスタマー・ディライト」(顧客が感動するサービス)の提供を目指し、日々力を尽くしていきます。



代表取締役社長 船越 真樹

# IDグループの事業戦略



近年、国際競争の激化や円高進行、震災の影響など、企業を取り巻く国内事業環境は厳しさを増し、海外市場を狙った日系企業の海外進出はますます活発化しています。

また、情報システムに対する顧客ニーズはますますグローバル化しており、海外においても日本と同水準の、安心かつ安全できめ細かいシステム運用や導入等のアウトソーシングニーズが高まっております。

そのようななか、当社グループは、中国の子会社や欧米の事業会社との連携により、ITに関する導入支援から開発・運営管理までのワンストップサービスを、日欧米中のグローバルITサポート体制で提供していきます。



## Newton Information Technology Ltd.との提携



ニュートンITは、英国において日系金融機関や製造業等を対象に、IT基盤構築・運用・保守から業務システムのコンサルティング・構築支援、さらには情報セキュリティコンサルティングや事業継続計画 (BCP) 構築支援まで幅広く提供しており、コンサルティングから構築、運用、保守、リスク管理までのワンストップサービスを強みとしています。

当社グループとは、①販売・受注等、営業活動全般にわたる情報の提供や支援、②システム運営管理やソフトウェア開発等における協業または支援、③人的・技術的交流を目的に業務提携を行います。

## 業務提携により日欧米中のグローバルIT支援体制を実現

## 艾迪系統開発(武漢)有限公司 (ID 武漢)



100%連結子会社であるID武漢は、2004年にIDのオフショア開発拠点として設立され、日系金融機関や運輸サービス企業等のソフトウェア開発を行ってきました。現在はシステム運営管理やBPO事業も手がけ、無錫(中国)や東京に支店を開設するなど、生産体制を強化しています。

ID同様、ソフトウェア開発からシステム運営管理、BPOまでトータルなITサービスを提供できる強みを活かし、日系企業へのITサポートを強化しています。また、中国市場におけるビジネスを拡大すべく、現地有力ベンダーとの協業・提携を推進することで、中国全土にわたるサービスネットワークの構築に注力しています。

(近年の動向に関する詳細につきましては、P5をご参照ください)

## SYSCOM (USA) INC.との提携



シスコムUSAは、米国における日系金融機関や商社を対象に、データセンターにおけるシステム運営管理からネットワーク環境の設計・構築、さらには基幹システムのERP導入や内部統制構築支援などのビジネス分野のSI支援まで幅広く提供しており、サーバーの仮想化などシステムの基盤系分野においても豊富な実績を有しています。

当社グループとは、①販売・受注等、営業活動全般にわたる情報の提供や支援、②システム運営管理やソフトウェア開発等における協業または支援、③人的・技術的交流を目的に業務提携を行います。

## グローバル展開の拡大

### ID 武漢の進捗

2009年12月には、成長著しい蘇州・上海エリアの江蘇省無錫市に支店を設立し、日系企業のシステム運営管理業務を開始しました。また、中国現地での営業活動も積極的に行い、日系企業の開発業務を受注するなど、着実に実績を積み上げています。

2010年6月には、中国におけるオフショア開発ならびに現地の日系企業向けのビジネスを強化・拡大することを目的に、東京支店の営業を開始しました。IDと

ID 武漢は、中国の華中地域の中心都市である武漢市に、IDの100%連結子会社として2004年に設立されました。当初はオフショア拠点として、IDのソフトウェア開発の生産基地となってノウハウを蓄積しました。

は、品質向上に向けた業務ノウハウの共有化や人材交流を継続的に行っています。さらに、特定派遣が許可されたことで請負契約だけでなく派遣業務も受注できるようになりました。選択肢が広がるなか、今後、さらなる業績の拡大を図っていきます。

また、ID 武漢本社では、オフショア開発を行うとともに、今後の業容拡大や急速な発展が見込まれる中国ITサービス市場に対応すべく、人材の確保、育成にも注力しています。今年度中にはID 武漢の社員数は全体で100名を超える見込みです。



ID 武漢(本社)の社員



**2004年 4月**  
IDの100%連結子会社として設立

**2009年 12月**  
江蘇省無錫市に支店を設立

**2010年 6月**  
東京支店設立

## 芸術文化活動の支援について

当社は「わくわくする未来創りに参加する情報サービス企業」として、優れた芸術や文化をより多くの人々が楽しめるように支援を続けています。徳永慶子さんが第2ヴァイオリン奏者をつとめるアツカ・クァルテット(写真左)は、5月の第7回大阪国際室内楽コンクールで優勝、7月のメルボルン国際室内楽コンクールで第3位に入賞しました。

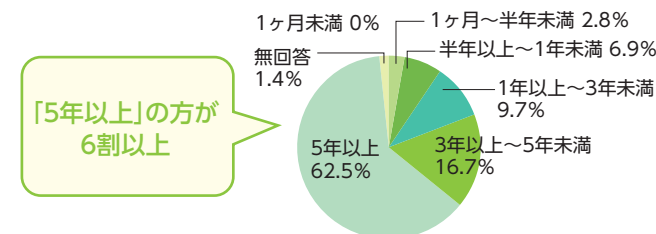


また、クラシックコンサートの企画制作を行う森音楽事務所に対する支援の一環として、上野星矢フルートリサイタル(写真中央)を特別協賛し、収益金を震災復興の義援金として寄付しました。さらに、当社主催の個人投資家向け会社説明会では、グランドハーブとフルートの演奏によるミニコンサート(写真右)を行い、好評を博しました。

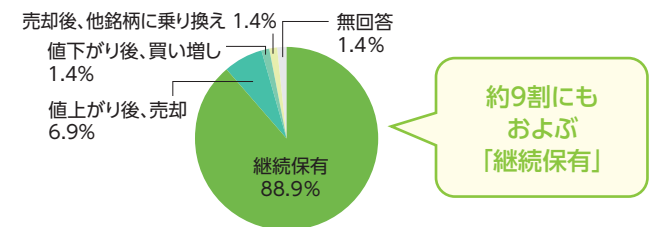
# アンケート結果

前回の「ID LETTER」にて実施しましたアンケートには多くのご回答をいただきました。心よりお礼申し上げます。以下では集計結果の一部をご報告いたします。

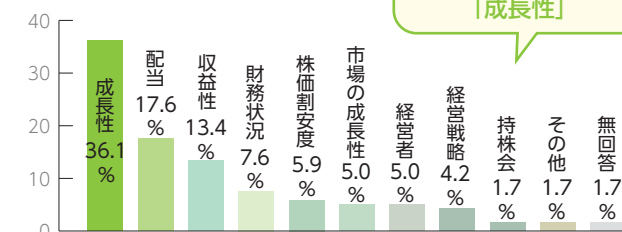
## ■ 当社株式の保有期間



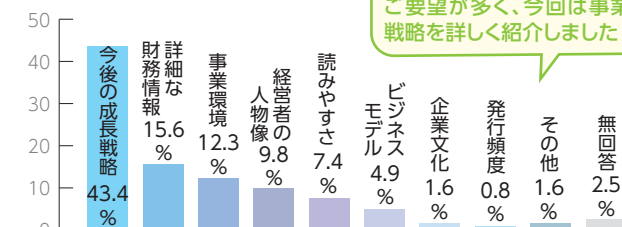
## ■ 投資スタンス



## ■ 当社株式ご購入の理由



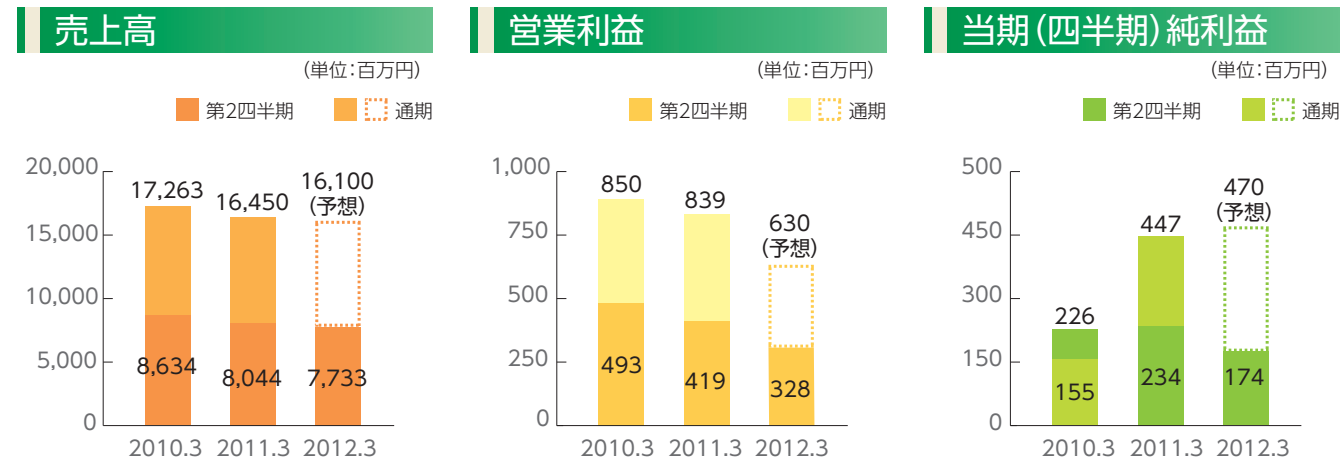
## ■ IDレーダーに期待する内容



アンケートの結果や自由コメント欄に記載いただきましたご意見、ご要望を真摯に受け止め、今後の経営やIR活動の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

# 財務の状況

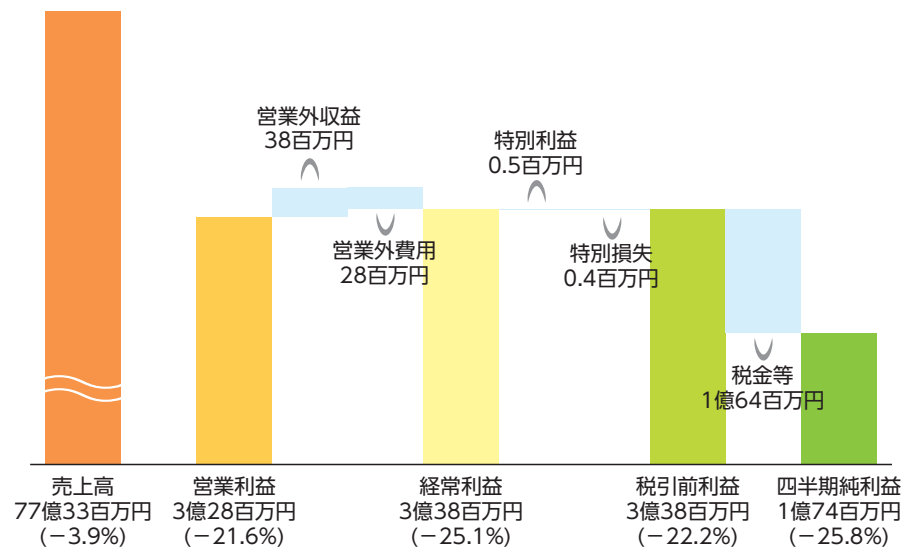
## 損益の状況



## 当上半期の損益の変動

当上半期の連結売上高は、77億33百万円(前年同期比3.9%減)となりました。システム運営管理業務のアウトソーシング化の需要を捉えたことでシステム運営管理が微増となったものの、顧客のIT投資抑制によるソフトウェア開発の伸び悩み、国内の受託データ入力事業からの撤退による受注減の影響を受けました。

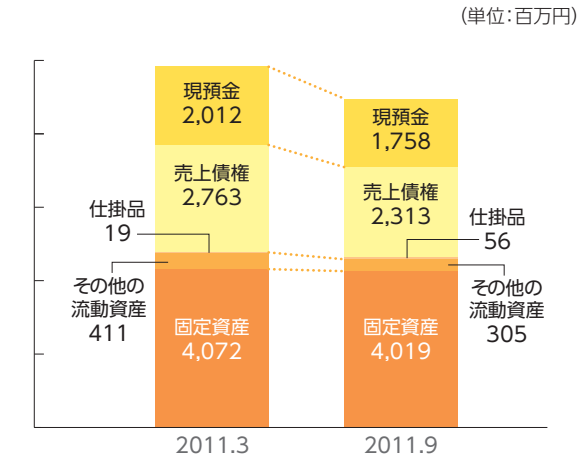
また、減収に伴う減益のほか、顧客からの値下げ要請等により、営業利益、四半期純利益は前年同期より減少しました。



※ ( ) 内は前年同期比

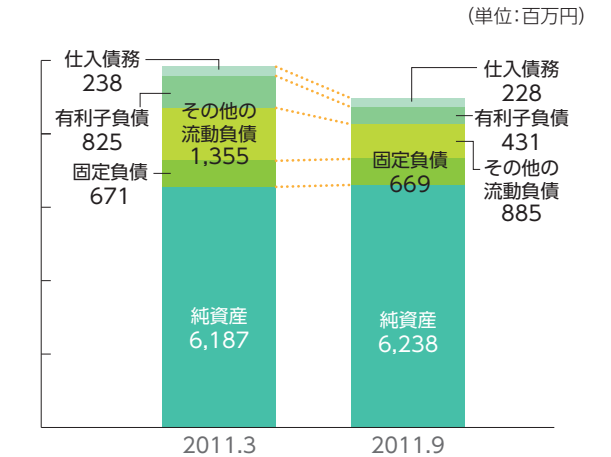
## 財政の状況

### 資産の部



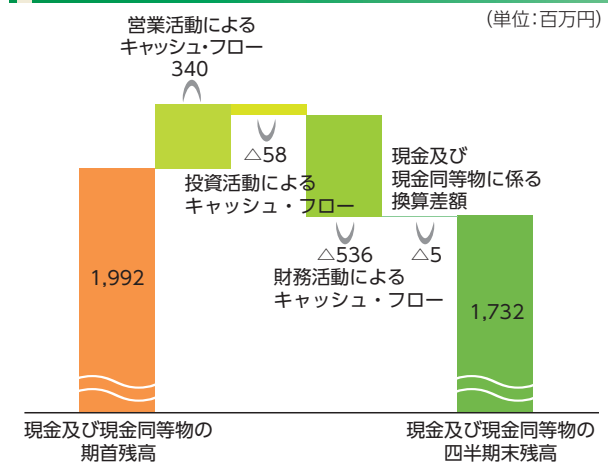
現金及び預金、売上債権、繰延税金資産などの流動資産の減少により、資産は前連結会計年度末の92億79百万円から8億24百万円減少し、84億54百万円となりました。

### 負債・純資産の部

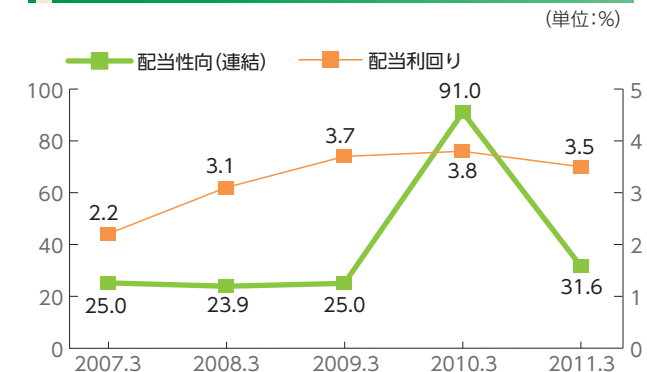


有利子負債の減少等により、負債は前連結会計年度末から8億75百万円減少し、22億15百万円となりました。純資産は50百万円増加の62億38百万円となり、自己資本比率は71.4%と高水準を維持しています。

## キャッシュ・フローの推移



## 配当性向(連結) / 配当利回り



2011年3月期 1株当たり配当金 19円 → 2012年3月期 1株当たり配当金(予定) 21円

2011年9月30日現在

## 会社概要

商号	株式会社インフォメーション・ディベロプメント (略称:ID) INFORMATION DEVELOPMENT CO., LTD.
本社所在地	〒102-0084 東京都千代田区二番町7番地5 二番町平和ビル TEL.03-3264-3571 (代表) FAX.03-3264-3618
創立	1969年(昭和44年)10月20日
資本金	5億9,234万円
社員数	1,810名(単体)

## 役員

代表取締役社長	船越 真樹
代表取締役専務取締役	山川 利雄
取締役兼常務執行役員	七尾 静也
取締役兼常務執行役員	小池 昭彦
取締役	三木 昌樹(弁護士)
常勤監査役	若松 和男
監査役	岡崎 正憲(公認会計士)
監査役	丸森 英助 (みずほトラストオペレーションズ株式会社 取締役社長)
監査役	増田 裕明
執行役員	倉重 恵造
執行役員	加藤 剛
執行役員	牧野 仁
執行役員	上拾石 直樹
執行役員	山内 佳代
執行役員	木村 由美子
執行役員	松浦 繁則

※ 取締役/三木昌樹は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
 ※ 監査役/岡崎正憲、丸森英助、増田裕明は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## 国内・海外ネットワーク

連結子会社

### 株式会社日本カルチャソフトサービス(略称:CS)

資本金:9,000万円 ID出資比率:100%

### 株式会社ソフトウェア・ディベロプメント(略称:SD)

資本金:1億円 ID出資比率:80%

### 株式会社プライド

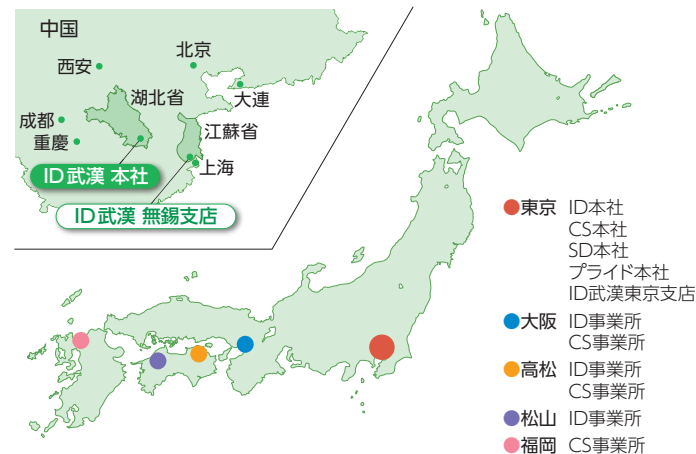
資本金:4,000万円 ID出資比率:54.4%

※出資比率は自己株式を控除して計算しております。

### 艾迪系統開発(武漢)有限公司(略称:ID武漢)

資本金:110万米ドル ID出資比率:100%

※2011年11月21日付で当社が保有する株式会社シー・エイ・ティの全株式を譲渡しました。

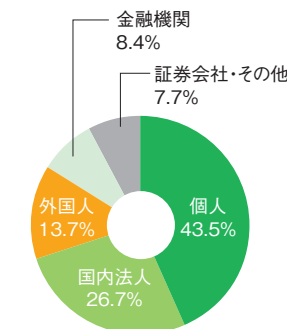


2011年9月30日現在

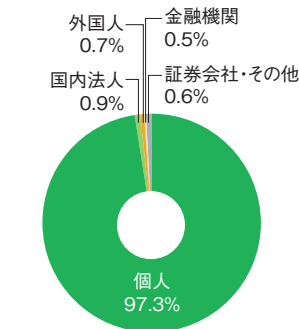
## 株式情報

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式総数	8,029,535株
株主総数	1,845名

### 株式数別構成



### 株主数別構成



## 大株主の状況

株主名	持株比率 (%)
有限会社エイ・ケイ	8.7
株式会社みずほトラストシステムズ	8.5
ID従業員持株会	8.3
タイヨー パール ファンド エルピー	8.1
株式会社インフォメーション・ディベロプメント	7.5
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー 505104	4.4
みずほ信託銀行株式会社	3.5
株式会社ケイ・シー・エス	3.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2.8
竹田和平	2.6

## 株式会社インフォメーション・ディベロプメント主催

### 「第6回 個人投資家向け会社説明会」開催のお知らせ



2012年5月、当社にて個人投資家向け会社説明会を開催します。当日は、船越社長による事業内容や業績についての説明のほか、社長や役員との交流の機会も設けています。広く、多くの方々当社グループを知っていただける機会と捉えていますので、当社の株主でない方をお誘いいたしても結構です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 日時 2012年5月11日(金) 13:30~15:00(13:00開場)
- 場所 当社システムサービスセンター4階会議室 東京都千代田区二番町14番地 日本テレビ麹町ビル西館 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」より徒歩1分、「市ヶ谷駅」より徒歩7分)
- 内容 「事業内容、業績などについて」(船越社長) 交流会
- 参加費 無料

※「マナちゃん」グッズをご用意しています。(写真は一例です。)

### お申し込み方法

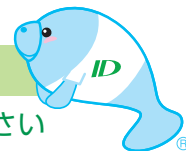
同封のはがき(参加申込票)に必要な事項をご記入の上、2012年4月20日(金)までにポストにご投函いただくか(切手は不要)、または当社ホームページ(<http://www.idnet.co.jp>)よりお申し込みください。お申し込みいただいた方には、開催1週間前までに案内状を送らせていただきます。お問い合わせ先:03-3262-5177(社長室 担当:石山)



※業績予想につきましては、決算発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

# 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月に開催します	
基準日	定時株主総会の議決権 期末配当金 中間配当を行うときの中間配当金	3月31日 3月31日 9月30日
公告の方法	当社ホームページ上の電子公告により行います。 <a href="http://www.idnet.co.jp">http://www.idnet.co.jp</a> ただし、やむを得ない事由により電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に掲載 いたします。	
株主名簿管理人 同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
郵送物送付および お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル)	
単元株式数	100株	
証券コード	4709(大阪証券取引所 JASDAQスタンダード)	



## アンケート調査にご協力ください

IDでは、アンケートを通じて、株主の皆様  
の株式投資に関するお考えや、当社に対す  
るご意見などをおうかがいし、今後の経営  
やIR活動の参考にさせていただきたいと考  
えております。

アンケートにご協力いただける場合は、  
同封のアンケートはがきにより、ご回答をお  
願いたします。

※アンケート内容はご協力者の株式投資に対するお考  
え、ご意見などをお聞かせいただくものであり、株式  
の購入・売却などを勧誘するものではありません。

※アンケートで収集した情報は、ID LETTERでご紹介  
するほか、当社の経営やIR活動の改善のために利  
用させていただきます。



JQA-QM7617  
SI第3部  
ITS第1部、第2部



EC99J1084  
ITS第6部



JQA-IM0433  
BPO部



JQA-IT0026  
グループ業務管理部  
システムMgt\_G



## 株式会社 インフォメーション・ディベロップメント

〒102-0084 東京都千代田区二番町7番地5 二番町平和ビル  
TEL.03-3264-3571(代) IRお問い合わせ先：社長室 TEL.03-3262-5177

IDに関するより詳しい情報はこちらへ

<http://www.idnet.co.jp>

